



平成28年証券アナリスト第1次試験（秋試験）

解答速報！

2016/10/7 現在

【証券分析とポートフォリオ・マネジメント】

第1問（15点）

問1 A 問2 D 問3 C 問4 C 問5 B 問6 A 問7 D 問8 D
問9 B 問10 A 問11 D 問12 D 問13 A 問14 C 問15 B

第2問（30点）

I

問1 C 問2 D 問3 A 問4 C 問5 D 問6 C 問7 A 問8 C

II

問1 B 問2 D 問3 C 問4 D

III

問1 D 問2 C 問3 A

第3問（30点）

I

問1 B 問2 C 問3 D 問4 B 問5 B 問6 A 問7 A

II

問1 E 問2 B 問3 B 問4 D 問5 D

III

問1 A 問2 B 問3 A

第4問（35点）

I

問1 B 問2 A 問3 A 問4 B 問5 C 問6 B 問7 A

II

問1 E 問2 D 問3 E 問4 C 問5 B 問6 E

III

問1 C 問2 D 問3 C 問4 A 問5 B

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。

TAC

第5問 (30点)

I

問1 A 問2 B 問3 B 問4 D 問5 A 問6 B 問7 A

II

問1 E 問2 D 問3 D 問4 C

III

問1 A 問2 E 問3 B 問4 C

第6問 (40点)

I

問1 A 問2 D 問3 D 問4 D 問5 A

II

問1 C 問2 B 問3 D 問4 E 問5 C

III

問1 C 問2 C 問3 C 問4 B 問5 B 問6 A

IV

問1 E 問2 C 問3 E 問4 D

この解答速報の著作権は、TAC（株）に帰属するものであり、無断転載・転用を禁じます。

なお、この解答速報は、TAC 独自の見解に基づくものであり、正解であることを保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合がありますので、ご質問などの受付はいたしかねます。

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。



2016 証券アナリスト 1 次試験（秋）

「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」

過去 4 回の問題数・配点は以下の通り。

平成 27 年（春）～平成 28 年（秋）

問 題	分 野	平成 27 年 （春）	平成 27 年 （秋）	平成 28 年 （春）	平成 28 年 （秋）
第 1 問	日本の証券市場	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)
第 2 問	企業のファンダメンタル分析	16 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 3 問	株式分析	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 4 問	債券分析	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)
第 5 問	デリバティブ分析	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 6 問	ポートフォリオ・マネジメント	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)
合 計		99 問 (180 点)	98 問 (180 点)	98 問 (180 点)	98 問 (180 点)

春試験の易化を受けての流れか、この秋試験はかなり易しくなっている。正誤問題は理論や制度をさほど知っていなくても常識で正解を拾えるものが大半、計算問題も複雑な計算処理やパズルのような式の操作が必要なものはほとんどない。特徴的なのが第 2 問：「企業のファンダメンタル分析」。いつもは「Raw Data」と思しき、切れの悪い数字の並んだ財務諸表が提示されるのだが、今回の財務データは下 3 桁くらいまで 0 で丸められた非常にきれいな数値が多かった。他分野と同様「問題のための数値」ではあるが、数字の拾い間違いや電卓の入力ミスが起こりにくい。時間を節約できるし、つまらぬ失点もせずに済む。

ただし春試験同様、第 2 問～第 6 問には意味を理解していないとさっぱりわからない、あるいはミスリードするような計算問題が結構潜んでいる。ちゃんと学習しておけば楽勝だが、丸暗記しておいていつものパターンでやろうすると手も足も出ない。もっとも、合否に影響を与えるほど多くはないが。

第 1 問：「日本の証券市場」は、回によって常識レベルで正解できるような問題が多いときと、協会通信テキストを詳細に読み込まないと正解にたどり着けないような問題が多いときがある。今回はもちろん前者で、うまくすると 15 点満点を狙える珍しい回だった。

以上